

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

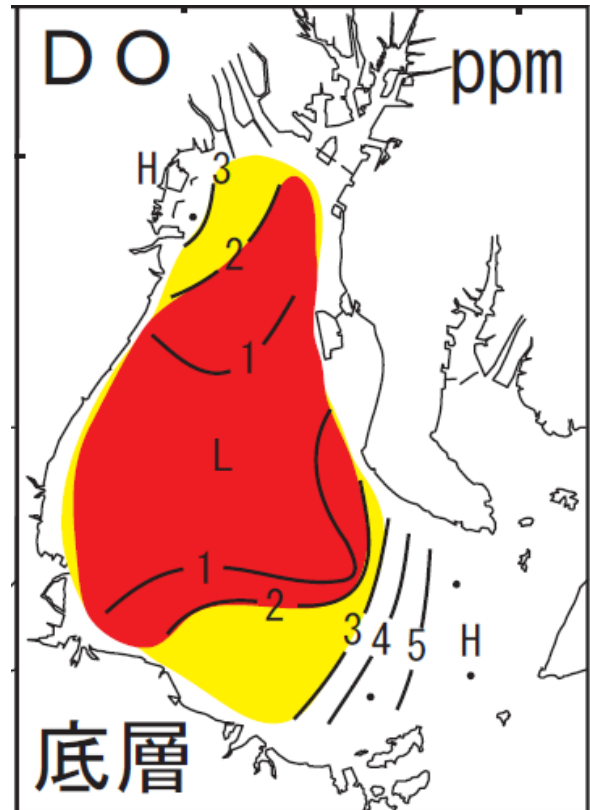
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

7 月 1 日の調査結果

7 月 1 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.0～26.0℃、10m で 19.5～21.7℃、底層で 16.3～21.3℃の範囲にあり、表層は平年並からやや高め、10m と底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.5～12.1ppm、10m で 1.5～6.6ppm、底層で 0.1～5.8ppm の範囲にあり、表層と 10m は平年並、底層では平年並からやや低めとなっていました。

底層では湾口部を除く広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されており、1ppm 以下も観測されるなど、先月の観測時より貧酸素化が進んでいました。



底層貧酸素水塊分布図

今後も表層と底層の水温差などにより、海水の上下混合が起こりにくくなります。このため、貧酸素状態は継続するものと思われます。